



一隅を照らそう  
5月号  
328号  
毎月28日発行  
E-mail: info@tougakuin.jp



### 私たちは仏の教えに包まれている

住職 中島 有淳

女坂の入口にある寺の掲示板は、月二回書き換えています。つづじシーズン」の先日には、標題の言葉を書きました。とても解り易い語句で、どなたからも「これはどんな意味ですか?」といった質問はありませんでした。

「お寺の人だったらこの位の言葉はアリだろう」ということでしようか。

しかし、この語句についての実感をどの位もっておられるのかと考へ、今月はこのテーマについて説明してみたいと思います。

昨今のコロナ禍を例に、私たちはどのように仏さまの教えをそこに求めるかということです。

ここは、数ある仏さまの教えの中から「六波羅蜜」をあてはめてみます。

#### 六波羅蜜

一、布施—財施・法施(真理を教えること)・無畏施(恐怖をとり除き安心を与えること)の三種がある。

※コロナ禍に於いては、周囲の人に対して少しでも安心してもらえるように努める

二、持戒—戒律を守ること。自己を常に反省すること。

※コロナ禍に於いては、人に対して不快となるような行為を慎むこと

三、忍辱—迫害を耐え忍ぶこと

※コロナ禍に於いては、不便と思われることも我慢すること

四、精進—他の五徳目を撓まずに実践しつづけること

※コロナ禍に於いては、注意を怠らない

五、禪定—心を安定にすること

六、智慧—真実な智慧をひらきあらわすこと。命そのものを把握すること。これらの徳目がまず与えることから始まって、智慧に終わっていると大乗の菩薩の在り方がよく表

明されている。

※コロナ禍に於いては、こうした心の運びを心掛けることによつて自他共に平穏となれることでしよう。

◎ゴシックは『新・仏教辞典』中村元監修・誠信書房より引用

京都に『六波羅蜜寺』という有名なお寺があります。九五一年、悪疫流行のため十一面観音などを造つて、空也上人が祈禱したのが創建。空也上人立像は、口から念仏を象徴した小さな阿弥陀仏が出る特殊な形式で、空也念仏(踊り念仏)ともいわれました。

「四苦八苦」、「十二因縁」、「四無常」、「六道」、「六根清浄」等々。仏教の用語は実に数多くあります。そうした語彙の中で、日本人は長い間自分の気持ちを見つめ、心を育んで来たのです。こうした仏教の世界観に浸り、その熏習に包まれながら他人とも仲良く暮らしてきたのです。

\*熏習:衣服などに香氣(熏)が移り附着するように我々の身体、言葉や心の動きの勢力が心に残留する影響作用ともいうべきもの。

### 折りふしのはな

エビネ

「バランスよ バランス」といつもお茶の先生は仰有っていました

先生から頂いた一株のエビネが最近少し増えました

お茶会でのこと 御家元での研修など 思いおこしております

今は自然界と人智とのバランスがちょっと不安定なのかもしれません心も身体も もろもろのバランスがうまく取れるようになるといいですね (遊)



### 五月行事案内

◎五月八日 午後二時

薬師如来大護摩供修行

◎五月十二日 午後二時 智泉院法要日(於・日本橋茅場町)

◎五月十八日 午後二時 観音経読誦法要(於・神木観音堂)

◎五月二十八日 午後二時 不動明王大護摩供修行

\*毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております  
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ

ご希望の方には  
お礼を授与しております



### あとかた

五月二十二日(土)

●月例「止観(坐禪)会」

午前九時三〇分 定員十名・申込順・五〇〇円

●第二回「二年かけて『法華経』を読む会」

午前十一時 定員十名・申込順・三〇〇円

○本年の六月四日は、天台宗の宗祖・伝教大師最澄の二二〇〇年御遠忌の祥当日。記念事業の数々もコロナで中止に。

○比叡山で、伝教大師が今もおわすが如くお仕えする「十二年籠山行」を渡部光臣住職(48)が遂業。戦後七人目。次号で詳しく。

○アースデイ4/22にあわせた気候変動サミットが、米大統領主導でオンライン開催。地球環境では中国も協力とか。日本も温室効果ガス46%削減を表明。世界が「強く早く」をどこまで。

○「東京五輪」まであと三ヶ月をきり、やきもき状態もピークに近づいてきました。開催有無に関係者も大変です。

○そんな中、またコロナ禍で四都府県に4/25〜5/11迄の三度目の「緊急事態宣言」が。まん延防止等重点措置も増えて、マスク姿の光景がすっかり定着しました。

○報道されるミャンマーをはじめ、中国やロシア等の人権侵害が深刻。正確な情報と穏やかな解決策は、誰もが望むところです。

○今年つつじの咲きは二週間以上も早く、雨にもうたれて可哀相でした。でも地道に世話をしなければと思ひます。

○本堂向かって右手、墓所へと続く階段に、手すり設置。合祀墓「俱会一処」へのお参りもしやすくなりました。

○新緑が美しいですが、「鯉のぼり」を見かけません。折々を大切に生活したいものです。お元気で。